

日田市学校施設長寿命化計画 ～プール編～（概要版）

【目 的】

本計画は、「日田市公共施設等総合管理計画」に基づく学校施設（プール施設）の個別施設計画として策定します。

施設の現状評価およびライフサイクルコスト等を総合的に勘案し、具体的な整備内容・時期・費用を定めた計画を策定することで、トータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況下においても安全・安心な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境への対応に資することを目的とします。

【計画期間】

本計画の期間は、「日田市公共施設等総合管理計画」との整合を図り、2055年を目標年とします。

計画の推進にあたっては、施設の老朽化状況等を踏まえたPDCAサイクルによる進行管理を行い、5年ごとに見直しを実施するものとし、本計画は2026年度から2030年度までの第2期計画にあたります。

【対象施設】

本計画の対象施設は、学校施設が保有しているプール施設のうち、小学校14校、中学校7校の計21校（うち、2校は一貫校）の42施設を対象とします。

※学校管理以外のプール施設を使用している学校については対象外

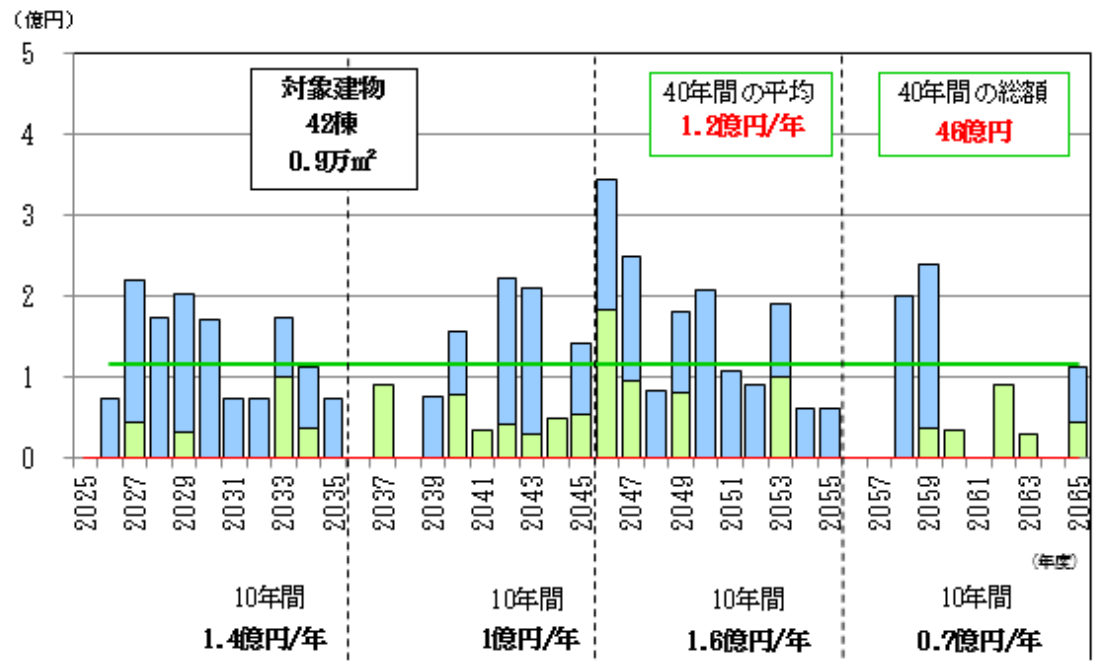
【維持・更新コスト（従来型）】

長寿命化計画対象建物42施設について、従来 of 建替えを前提とした維持・更新を図る場合、今後40年間の維持・更新コストは、総額で約46億円が必要となり、年平均で約1.2億円が必要になると試算されています。

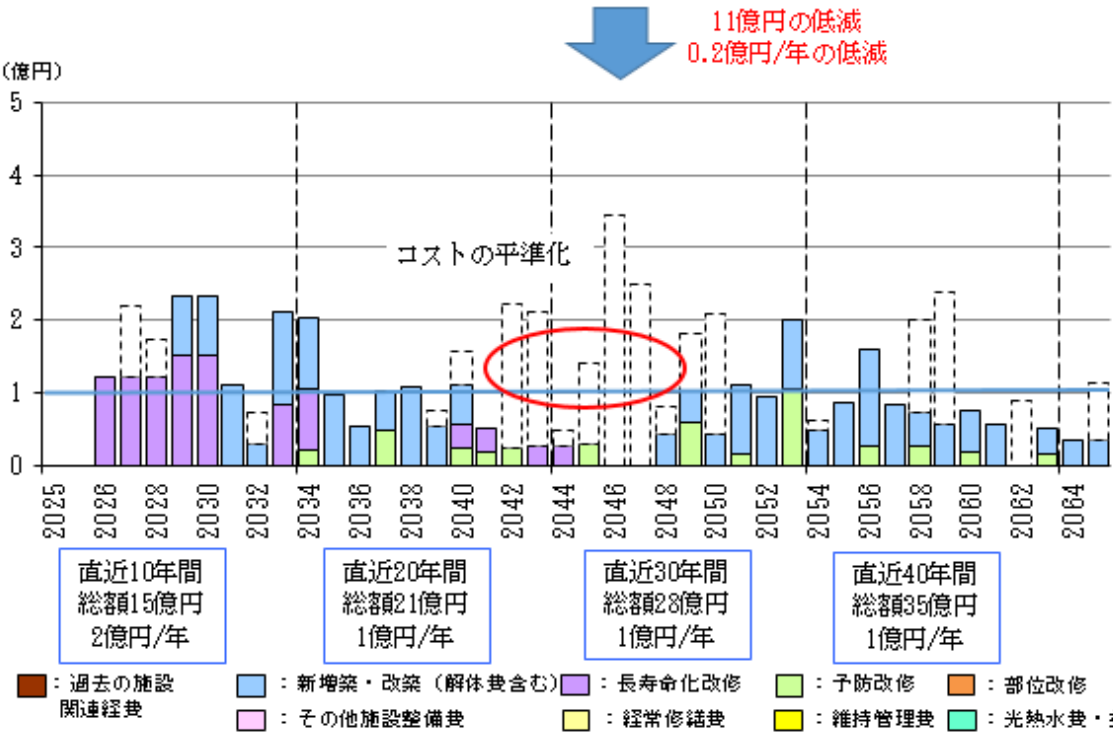
【維持・更新コスト（長寿命化型）】

本計画において対象となるプール施設の維持・更新コストについて、文部科学省提供の試算ソフトにより、長寿命化を前提とし、予防保全等の改修を20年毎に実施することを想定した今後40年間のコストは、総額で約35億円、1年あたり約1億円が必要になると試算されます。

これは、従来型の改築をメインとした施設整備に比べ、総額で約11億円、1年あたり約0.2億円のコスト低減につながります。また、年度ごとのコストの平準化にも寄与します。



維持・更新コストの試算（従来型）



維持・更新コストの試算（長寿命化型）

【プール施設の維持・管理に関する基本方針】

＜公共施設等総合管理計画の全体方針＞

- ・適正な配置の検討にあたっての目標縮減率…40年間で公共施設（ハコモノ）延床面積を30%削減
- ・プール施設は適切な維持管理を行い、施設の更新や集約、民間活用、市有施設等の利用も含めて検討

＜プール施設長寿命化計画の基本方針＞

1. 児童・生徒の安全・安心を守る計画的保全と長寿命化の推進
2. 施設保有量の最適化
 - ※学校施設の適正規模・適正配置の検討状況を十分に考慮

【長寿命化の方針】

本市の今後の厳しい財政状況の下では、改築を中心とした老朽化対策では対応しきれない施設が大幅に増加する恐れがあります。

中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ります。

なお、改築せざるを得ない建物があった場合は、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

【目標使用年数、改修周期の設定】

本計画における対象施設については、予防保全に加え、事後保全を併用することで、目標耐用年数を下記のとおり設定します。

表：対象施設の目標耐用年数

施設	処分制限期間	事後保全型	予防保全型	目標耐用年数
プール本体	30年	45年	54年	54年
プール給排水衛生設備	15年	30年	36年	36年
プール建物（RC）	47年	47年	56年	56年

出典：公園施設長寿命化計画策定指針(案) 国土交通省都市局公園緑地・景観課

【長寿命化改修等の優先順位】

維持管理については、予防保全型による維持保全を目指すものとし、健全度の調査結果による補修、更新の必要性を判断して改修等の緊急度を判定します。

表：緊急度判定の目安

緊急度	判定の目安
高	・健全度判定がDの施設 ・健全度判定がCの施設のうち、優先して補修（構造等に影響のある部位）もしくは更新を行う施設
中	健全度判定がCの施設のうち、優先して補修もしくは更新を行わない施設
低	健全度判定がA又はBの施設

表：健全度と対応時期について

NO	施設名	建築年度	評価	健全度
1	咸宜小学校	2013	91	A
2	桂林小学校	1979	75	B
3	日隈小学校	2000	75	B
4	若宮小学校	2016	91	A
5	三芳小学校	2005	91	A
6	高瀬小学校	2006	91	A
7	光岡小学校	2004	75	B
8	朝日小学校	1977	40	C
9	三和小学校	1984	75	B
10	有田小学校	1975	40	C
11	小野小学校	1993	75	B
12	石井小学校	2023	100	A
13	東部中学校	1982	62	C
14	三隈中学校	1997	75	B
15	南部中学校	2020	100	A
16	北部中学校	2002	75	B
17	戸山中学校	1996	75	B
18	東有田中学校	2001	75	B
19	大明小中学校	2013	91	A
20	津江小中学校	1979	75	B
21	東溪中学校	1975	40	C

- 健全度Aのプールは、全体的に健全であり、緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理します。
- 健全度Bのプールは、第3期計画以降に、施設の更新や集約・民間活用等も含め検討します。
- 健全度Cのプールは、第2期計画内で、施設の更新や他の市有施設等の利用も含め検討します。

【長寿命化計画の継続的運用方針】

・推進体制の整備

プール施設の長寿命化計画を継続的に運用していくため、教育庁が中心となり、市の関係部署間で横断的な連携を図りながら計画を推進します。

・フォローアップ

5年ごとに本計画を見直し、実施計画を更新するため、建物の劣化、老朽化に関する点検を1年ごとに実施するとともに、プール附属室棟や機械室などについては法に基づく定期点検（3年ごと）の結果を有効に活用します。